

8  
7  
6  
5  
4  
3  
2  
1  
0

70

紫文製錦

羅田

七



紫文製錦七卷目錄

雜四

釋教

初丁

夢

十丁

飯食

十一

墨財

十一



紫文制衣錦七卷

安藝源稻亥撰

雜  
四

釋教

一

1

二〇

よしとたまひく。念佛衆生攝取不捨。  
ちのじくは、御心もあらうやか。し  
かくがりきみよか。おほきにさる  
。ワガトウ  
。おひきかうせりてつゝのねわしき。  
極むおひゆ。○  
カニタウはまくさうを。○  
そは山の底。○  
「まく」と。な。おひか横川傳教ちよま  
わいたまく。おひか。

三

四

四  
二

金虫ニテタ  
サニ官

夏ノ月も入るが  
持佛ほせんとあやま  
おのひがきのゆゑ  
あくまよしのけやもつ  
幡

かわらやくもくの  
うさぎのわらわら  
やまとうとくわらわら

はあめとたまひをくわすかむのうふか  
ひ下りしとまゆる。うづ。うの  
よはれぬやまがまくまきの  
曼陀羅

花あまたくくとくをひそむるのうだ  
あくらみもうむ百萬のくわくわく  
うしげざ菩薩のくわくわく  
正氣たぶかくまうくいきう  
まくまくよちのくわくまくまく  
。實

六

がくへやろけたモトヨリ。すまふし  
匂ひあきそ、さかづく經、六道の衆生がよ  
六ぶか物あらざる。持經、院うだんも  
うも、努力せむはま、かくもまじせば強縛  
かくもみじがた、あゆくを願文とく  
らやもつたきく、へり經、わくわくわ  
ゆくがきよきよも、かくわくへく  
かくよ経、とちくはくはくはくはくはく  
はくはくはくはくはくはくはくはくはくはく

くやつみくあめんか。まくわらひのうと  
 つはおもてたまくとまきかくだいのゆを  
 せわくじかへる。かくのせかがのせくは  
 けくじくべかへるかがく。例よりのく  
 らかわくへとて用とくわく  
 タキヤイク。  
 。大日が本うねり。まくわらひのうと  
 くわくとく。くわくちるがくわくよもく  
 うまや、あくじのくらう。あくひたすらと。まく  
 障マサニ  
 きくつまきたる。まくのうくわくと

うまく、くわく  
 佛法セトオハ達モテム  
 。おとたす、おのうへ  
 わくわくかく。まくわらひのうと  
 くわくとく。くわくちるがくわくよもく  
 うまや、あくじのくらう。あくひたすらと。まく  
 障マサニ  
 きくつまきたる。まくのうくわくと

字海のま内。

○ 指婚子セトガ

。秋あすかづる。江李はあくへ。一キナリ。山

傳。出おれ河。アツカ。アツカ。アツカ。アツカ。

みー。カ。カ。カ。カ。カ。カ。カ。カ。カ。カ。カ。カ。カ。

じて。ジ。ジ。ジ。ジ。ジ。ジ。ジ。ジ。ジ。ジ。ジ。ジ。ジ。

シ。シ。シ。

絆角セミタガ

。三。ア。ア。ア。ア。ア。ア。ア。ア。ア。ア。ア。ア。

ア。ア。ア。ア。ア。ア。ア。ア。ア。ア。ア。ア。ア。

ア。ア。ア。ア。ア。ア。ア。ア。ア。ア。ア。ア。ア。

ア。ア。ア。ア。

仕事セミタガ

。ア。ア。ア。ア。ア。ア。ア。ア。ア。ア。ア。ア。ア。

ア。ア。ア。ア。ア。ア。ア。ア。ア。ア。ア。ア。ア。

ア。ア。ア。ア。ア。ア。ア。ア。ア。ア。ア。ア。ア。

ア。ア。ア。ア。ア。ア。ア。ア。ア。ア。ア。ア。ア。

手音四セミタガ

。ア。ア。ア。ア。ア。ア。ア。ア。ア。ア。ア。ア。

ア。ア。ア。ア。ア。ア。ア。ア。ア。ア。ア。ア。ア。

ア。ア。ア。ア。ア。ア。ア。ア。ア。ア。ア。ア。ア。

ア。ア。ア。ア。ア。ア。ア。ア。ア。ア。ア。ア。ア。

思

ひうへくまくとあきゆみけふ。  
十五丁傳  
。いはくおもひくさくわざくは  
。まちまよせまく。ちまよのよおり  
。もあわすり。おもひ。まよひ  
。まよひ。うやうとりのまよひ。たま  
。けおまよひ。たま。つまう  
。まよひ。わづか。まよひ。せま  
。まよひ。せんれ。まよひ。かまうたむ  
。ひ

達

羅

。まよひ。がまく。わきひもおがく  
。こなまく。から林のゆよ。おこひく  
。身ひ。まよひ。ほくまよひ。まよひ。おまよ  
。あれひ。まよひ。まよひ。まよひ。まよひ。まよ  
。く松門。あくまよひ。月徘徊。ととまよ  
。あとだとゆり。まよひ。ひまをまよひ。まよ  
。まよひ。

。口六十五下

よもかくもとてやうじのとく  
とくもくわかなやとくもくあつ  
よもかく  
うきよもくわかなやとくもくあつ  
よもかくもとてやうじのとく

卷之三

タ魚、五十一丁ウ

明石七丁方

四

くへかへりが。まよわせたまへ。あらうへん  
まゆ。まゆの。まゆかへり。まゆかへり。  
○源内 流動言

身をやめよ。まゆの。まゆかへり。まゆ  
さかと。まゆかへり。まゆかへり。まゆ  
まゆかへり。まゆかへり。まゆかへり。  
まゆかへり。まゆかへり。まゆかへり。  
まゆかへり。まゆかへり。まゆかへり。  
まゆかへり。まゆかへり。まゆかへり。  
まゆかへり。まゆかへり。まゆかへり。

の。が。ひ。ま。く。ま。く。ま。く。ま。く。ま。く。  
ま。く。ま。く。ま。く。ま。く。ま。く。ま。く。ま。く。  
ま。く。ま。く。ま。く。ま。く。ま。く。ま。く。ま。く。  
ま。く。ま。く。ま。く。ま。く。ま。く。ま。く。ま。く。  
ま。く。ま。く。ま。く。ま。く。ま。く。ま。く。ま。く。  
ま。く。ま。く。ま。く。ま。く。ま。く。ま。く。ま。く。  
ま。く。ま。く。ま。く。ま。く。ま。く。ま。く。ま。く。  
ま。く。ま。く。ま。く。ま。く。ま。く。ま。く。ま。く。

○ハタウ  
は。ま。く。ま。く。ま。く。ま。く。ま。く。ま。く。  
は。ま。く。ま。く。ま。く。ま。く。ま。く。ま。く。

わがのまゝに  
腰がまくら  
わがのまゝに  
腰がまくら

相うべ  
みゆめかはまに、院の帝。おもひだれよ

朱雀院の美術館の仲間。  
さあとくわくわくおもとさきこむす

山の上に立つてやう。  
権 サミー・ウ  
。序文をさうの下りを原の書ひて。  
。いとまことにあらわされたりありひつじをすれ

女はとも  
だりよ、妻ともなくかづく事あると、之

وَلِمَنْدَلْيَانْ وَلِكَوْنَانْ وَلِكَوْنَانْ وَلِكَوْنَانْ وَلِكَوْنَانْ

卷之三

卷之三

卷之三

ほ氏天

おとてのゆがひよし、おとてのゆがひよし。  
おとてのゆがひよし、おとてのゆがひよし。

横笛十三十ツタ音のく。  
○拍本 横笛十三十ツタ音のく。

おとてのゆがひよし、おとてのゆがひよし。  
おとてのゆがひよし、おとてのゆがひよし。

七

拍本笛 箫行けよ、おとてのゆがひよし。  
○拍本 箫行けよ、おとてのゆがひよし。  
につくゆも、おりづくゆも、さくゆも、さくゆも、  
とおりづくゆも、さくゆも、さくゆも、さくゆも、  
さくゆも、さくゆも、さくゆも、

さくゆも、さくゆも、

## 食 食

○拍本 二三丁ウ

門のゆがひよし、おとてのゆがひよし。  
うゆがひよし、おとてのゆがひよし。  
合十カニウ  
○拍本 夜づけ、おとてのゆがひよし、おとてのゆがひよし。  
夜づけ、おとてのゆがひよし、おとてのゆがひよし。



たまく。おもむかしの事は、おもむかしの事。  
 岩木井ニテウ  
 もういづれもあそびうとけまつりやうす  
 もえい。  
 もえい。  
 てまく。ひめりたまふ。まつりやうす  
 一まく。あまく。まつりやうす  
 へまく。まつりやうす。  
 まつりやうす。  
 まつりやうす。  
 ロ九十六丁助  
 例 みえいのうべくのうかきうとくや  
 七

なまく。とおまく。おまく。あらかじめ  
 くもねきとおまく。おまく。おまく。  
 はおせナニテウ  
 おまく。おまく。おまく。おまく。  
 いふとく。  
 もおせナニテウ  
 おまく。おまく。おまく。おまく。  
 おまく。おまく。おまく。おまく。  
 おまく。おまく。おまく。おまく。  
 おまく。

畠戯

。十六

タ真六丁オ  
おまきこりもあまくやくとあまくあまく、  
あばかりくうしたるうつむ、  
うくやくうくうくうくうくうくうく  
タ真  
おあくまうきとおふく向あけひくうつむ  
ゆがむれ花うこもととく、  
てくまよおづきとばくうくうくうく  
おびくたす。  
ホ摘花世四丁ウ  
おまきこりやくよせく、  
おまきこりやくよせく

おまきこり

七

タ真六丁オ  
おまきこりもあまくやくとあまくあまく、  
さやうだい、  
さくまくまくまく、  
おまきこり  
ホ摘花世四丁ウ  
おまきこりやくよせく、  
おまきこりやくよせく

ホ摘花世四丁ウ  
おまきこりやくよせく、  
おまきこりやくよせく

おまきこり

人少す。

かくと。かへりて。かくと。かへりて。  
かへりて。かへりて。

花宴ハイタク

。うむ。ああ。ああ。うむ。うむ。うむ。  
うむ。うむ。うむ。うむ。うむ。うむ。

さくらの。さくらの。さくらの。さくらの。  
さくらの。さくらの。さくらの。さくらの。

人少す。

豪太イタク

。あ。う。う。う。う。う。う。う。う。  
車も。車も。車も。車も。車も。車も。車も。

人少す。

六条御息の車

人少す。

買木サカタク

。ひ。経。ひ。経。ひ。経。ひ。経。  
や。玉。玉。玉。玉。玉。玉。玉。

人少す。

貞ナヨ十五イタク

。だ。だ。だ。だ。だ。だ。だ。だ。  
か。か。か。か。か。か。か。か。

人少す。

蓬生十九丁オ

。う。う。う。う。う。う。う。う。  
毛。毛。毛。毛。毛。毛。毛。毛。

うづく。髪うり。和  
名抄。髪う者。所  
以被髮其髪也。と

。未<sup>タ</sup>故<sup>モ</sup>も<sup>の</sup>く  
そ<sup>ノ</sup>う<sup>べ</sup>に<sup>ハ</sup>く<sup>レ</sup>め<sup>サ</sup>り<sup>シ</sup>け<sup>ト</sup>と<sup>ハ</sup>く<sup>レ</sup>あ<sup>ハ</sup>く<sup>カ</sup>そ<sup>ノ</sup>  
う<sup>べ</sup>た<sup>マ</sup>く<sup>シ</sup>う<sup>べ</sup>。九<sup>又</sup>よ<sup>も</sup>う<sup>く</sup>く<sup>ミ</sup>、<sup>ト</sup>と<sup>が</sup>く<sup>く</sup>る<sup>る</sup>。

城やくはまちよしもんじゆくの  
ゆかうちひづねぐてゆきよ。  
赤葉花  
たゆやうとたのうゆうぢゆ

にうあをくわゆふ  
発合二十才  
うめ里よまくえき  
もくうちまぐの箱うつみとくもよせす  
きくらきくらむくゆふうす

まき、かみまほふがむすとねくもんがまく  
ひよしのへをこまく。

アラカニトコロ、ナニヤ  
ハ十六トウ。

乃ち、そぞうの事にあつては、  
まことに、むづくらに地獄の如き、  
さうして、かくも、  
綺

口  
右へがんばる。左へまわる。  
はまむ地図の上に、うしろのまくら

権斎翁の父の脇  
をさりかうるを  
も。

○ 橙 五十才

○ چون دیگر راه را  
نیافریده از پیش  
میگذرد و میگذرد

たとへておまかせだよ  
縁をもつて  
いなかつたふるよ  
けまわらへてもお  
わらわらあらわら  
火桶もうとくゆじ  
このままおまかせだよ

うちよきわざまことあゆくうすいし。  
オ

。ひるめにまよひけわて今  
やうだふくじやべり

行幸廿二日

。中之久よみ、もとまきひだる  
。おおこし。  
“あたしの  
“うめ。  
“うめ。  
“うめ。

蒙古文

行華地二丁目

1

卷之三

。枝三十一

。いそよかに。おまかせ。おまかせ。おまかせ。  
。おまかせ。おまかせ。おまかせ。おまかせ。おまかせ。  
。おまかせ。おまかせ。おまかせ。おまかせ。おまかせ。  
。おまかせ。おまかせ。おまかせ。おまかせ。おまかせ。  
。おまかせ。おまかせ。おまかせ。おまかせ。おまかせ。  
。おまかせ。おまかせ。おまかせ。おまかせ。おまかせ。

。ロードウ

。ちんせん。ちんせん。ちんせん。ちんせん。ちんせん。

。あらうつ。あらうつ。あらうつ。あらうつ。あらうつ。  
。あらうつ。あらうつ。あらうつ。あらうつ。あらうつ。  
。あらうつ。あらうつ。あらうつ。あらうつ。あらうつ。

。若菜上モ三十一

。中うつ。中うつ。中うつ。中うつ。中うつ。  
。中うつ。中うつ。中うつ。中うつ。中うつ。  
。中うつ。中うつ。中うつ。中うつ。中うつ。  
。中うつ。中うつ。中うつ。中うつ。中うつ。  
。中うつ。中うつ。中うつ。中うつ。中うつ。

。緑茶卷。中身中  
。玄米の味。朱雀  
。庭木の香。室  
。花の香。室

。ロードウ

。あん風味。あん風味。例れん。あん風味。

れ侍<sup>イシ</sup>す。へきな。や。めの。まよひ。おとつ  
 ナニキ。百多。かく。し。か。と。み。ど。例<sup>レ</sup>  
 じ。ひ。あ。や。せ。や。か。う。が。く。や。わ。  
 う。ち。ひ。く。あ。は。う。と。お。す。よ。お。き。  
 め。つ。く。ま。う。り。く。ら。の。と。よ。お。わ。い。た  
 モ。か。か。い。事。ち。ん。の。け。く。う。な。れ。う。あ。る。  
 ほ。め。え。ま。か。く。と。洋。景。会。せ。ば。あ。づ。  
 ま。う。は。せ。ま。せ。さ。勢。一。そ。ゆ。ふ。く。や。く。  
 る。と。ま。う。う。り。せ。屏。風。に。帖。ハ。或。ア。ミ。キ。

せ。ま。か。く。と。洋。景。会。せ。ば。あ。づ。  
 ま。と。か。く。と。洋。景。会。せ。ば。あ。づ。  
 う。い。わ。せ。く。よ。う。く。よ。う。の。い。づ。く。よ。う。  
 ま。と。か。く。と。洋。景。会。せ。ば。あ。づ。  
 ロ。下。セ。ト。オ。  
 。松。だ。く。ま。く。と。洋。景。会。せ。ば。あ。づ。  
 ま。う。ら。ま。じ。く。と。洋。景。会。せ。ば。あ。づ。  
 う。も。よ。な。せ。ト。洋。景。会。せ。ば。あ。づ。  
 鈴。出。六。丁。ウ。  
 。え。の。り。た。は。國。い。せ。う。み。ま。い。か。  
 ま。ま。の。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。

二十一

卷之三

10

卷之三

衣服

衣

ぐふーとくへとまつ  
まつも

れまかえ十二力原氏のゆのたの。げおとをくじき  
ふとじよかくたのりしゆみ、わらとつ  
ま上のえおと。

كَلْمَانْدَى

○深感天泪肉宴

“おおだに日  
あくまくはよきわざもむすび、まことにあれ

二〇

五

○二十一

いふ。案院は、さうの事で、おまかせす。  
ひるがけの事は、あたかもおまかせす。  
くわくわしたる事の事。  
着替ミタオ。  
ほだの事。  
きよみの事。  
やまの事。  
おひと。  
タヌキ。  
は、じめの事。  
室相の事。  
しもじ。  
くわくわしたる事の事。

お  
真木柱マツモト。  
。うなづかねば、やあ、とも、あと、まき  
の、さくらんぼ、さくらんぼ、さくらんぼ、  
りんご。  
岩菜イワナシ。  
。うなづかねば、やあ、とも、あと、まき  
の、さくらんぼ、さくらんぼ、さくらんぼ、  
かぶ。  
口下カクサ。  
。あ、と、まき、さくらんぼ、さくらんぼ、  
さくらんぼ、さくらんぼ、さくらんぼ、

〇二十八

二十九

日、ハ、う、ま、る、と、く、の、ま、る、か、の、ま、る、  
う、ま、る、と、く、の、ま、る、か、の、ま、る、  
う、ま、る、と、く、の、ま、る、か、の、ま、る、  
う、ま、る、と、く、の、ま、る、か、の、ま、る、

〇三十一

あとくまうとくわくへやうがま。ほまと  
あふる。  
絲角ロナーテウ  
。もとんづかよ。かうき。せぬみぐわの  
さくふ。たまよ。かづく。くわけ。ゆめ  
さくつやうく。くわく。くわく。や  
。今。むけ。くわく。くわく。た  
。中玉のうの。せんえく。  
さくとおひひやうたまよ。ゆえ。くわく。ま  
たまよ。まよ。せんえく。  
。まよ。  
たまよ。まよ。せんえく。  
。まよ。

三十一〇

あまく、かわなまく、たまよすけうらら  
こもく、あひじんかくおひさとひ  
うきよ。

あかをひりて人の間へゆき、まくわせ  
てけ祭。  
まちせ四丁目。  
。ひはもくま、わがまよめのひばるおや  
くさ、わいへたまくわらへうき、まくわせ  
ゆめ、とおゆく、うき、まくわせ、ひ  
まくわせ、まくわせ、ひまくわせ、まくわせ  
まくわせ、まくわせ、ひまくわせ、まくわせ  
あやまつあやまつ、おひつ、まくわせ  
らざたまづのまくわせ、まくわせ

